

結束乱レン、アリ其ノ後ノ状況左記ノ通り

記

一 事業主側

工場主ニ於テハ辛議加盟者カ不日屈服ス、シテ豫想シ一邦作茶
ヲ証續シ依然強硬ナル態度ナリ

二 辛議團側

既狼ノ通り辛議團本部ノ解散後数ヶ所ニ分集セルニ統制完カ
ラサル為メ去ルセ七日所轄看ノ諒解ヲ得テ元辛議團本部ナリ
シ築前町宮下一、八三、及今所一八二九ノニヶ所ニ再設シ團員
シ収容セルカ團長中島祐一対副團長長谷川正ト意見ノ一致ヲ
欠キ遂ニ反目シテ長谷川一派約六十名ハ本部ニ参加セス他ニ
集合シ策動セルカ長谷川派ハ硬派ニシテ暗ニ金協系日本金屬
労働組合ノ指導シ受ケ居ル模様アルニ依リ引續キ動靜視察中

ナリ中島派ニ於テハ別記(1)ノ如キビラシ團員ニ配布シ暗ニ長
谷川一派ヲ難シ自派ノ今下ニ叫翁ヲ計リ他面別記(2)(3)ヲ發行
シ宣傳ニ努メツ、アリ

三 交渉状況

其ノ後何等交渉ナシ從ツテ解決ノ機運ニ至ラス當廳調停謀ニ
於テモ成行注視中ナリ

右及申(通) 狼假也